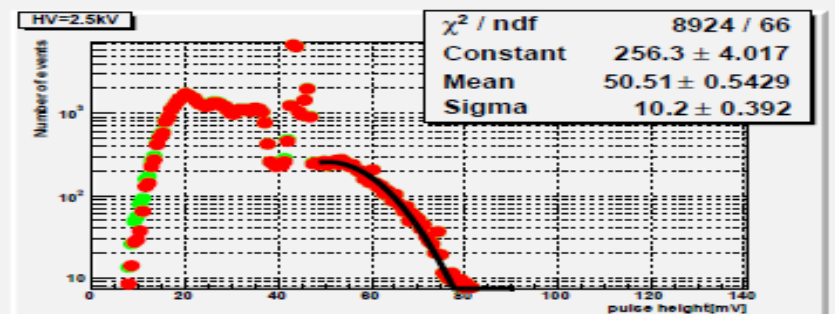
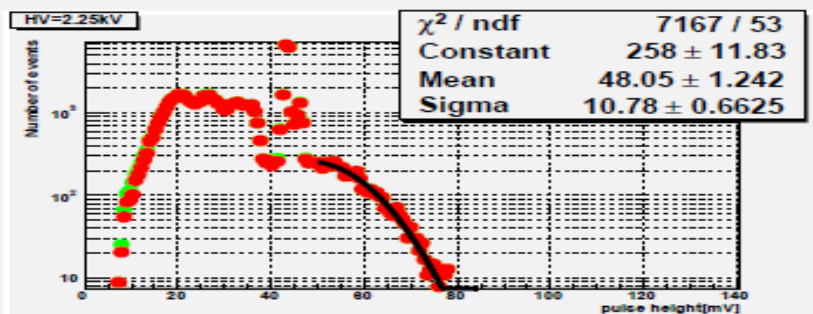
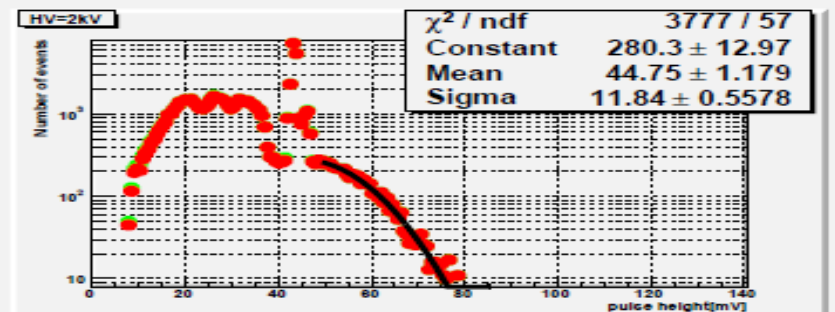
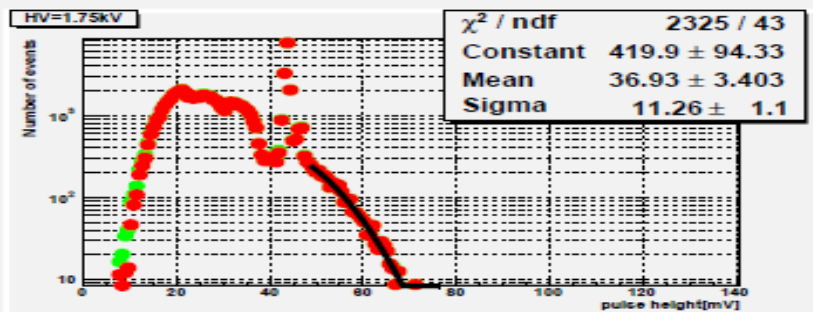
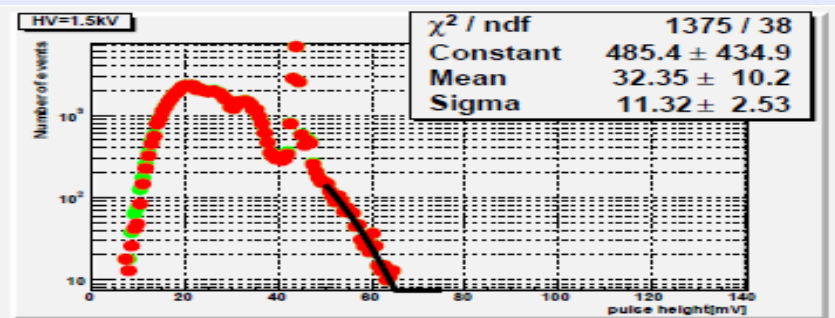
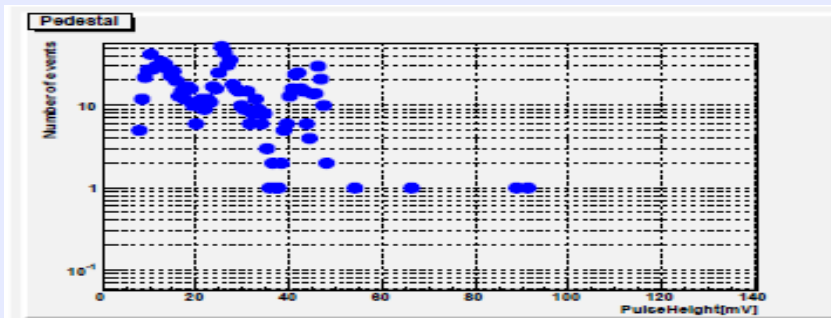


TPC analysis

- ◆ MCAで6/5と6/18に取ったpulse height シグナルの比較を行った
- ◆ ただし6/5はwith LPF, 6/18はw/o LPFのデータ
- ◆ 電圧は1.5, 1.75, 2, 2.25, 2.5[kV]で変化させ、ペDESTALを引いた値を用いる
- ◆ 横軸として、先週の meeting で求めたch to pulse height の値を用いる
- ◆ 電圧によって変化している部分が α 線によるシグナルと考えられる
→この部分をガウスフィットして比較する

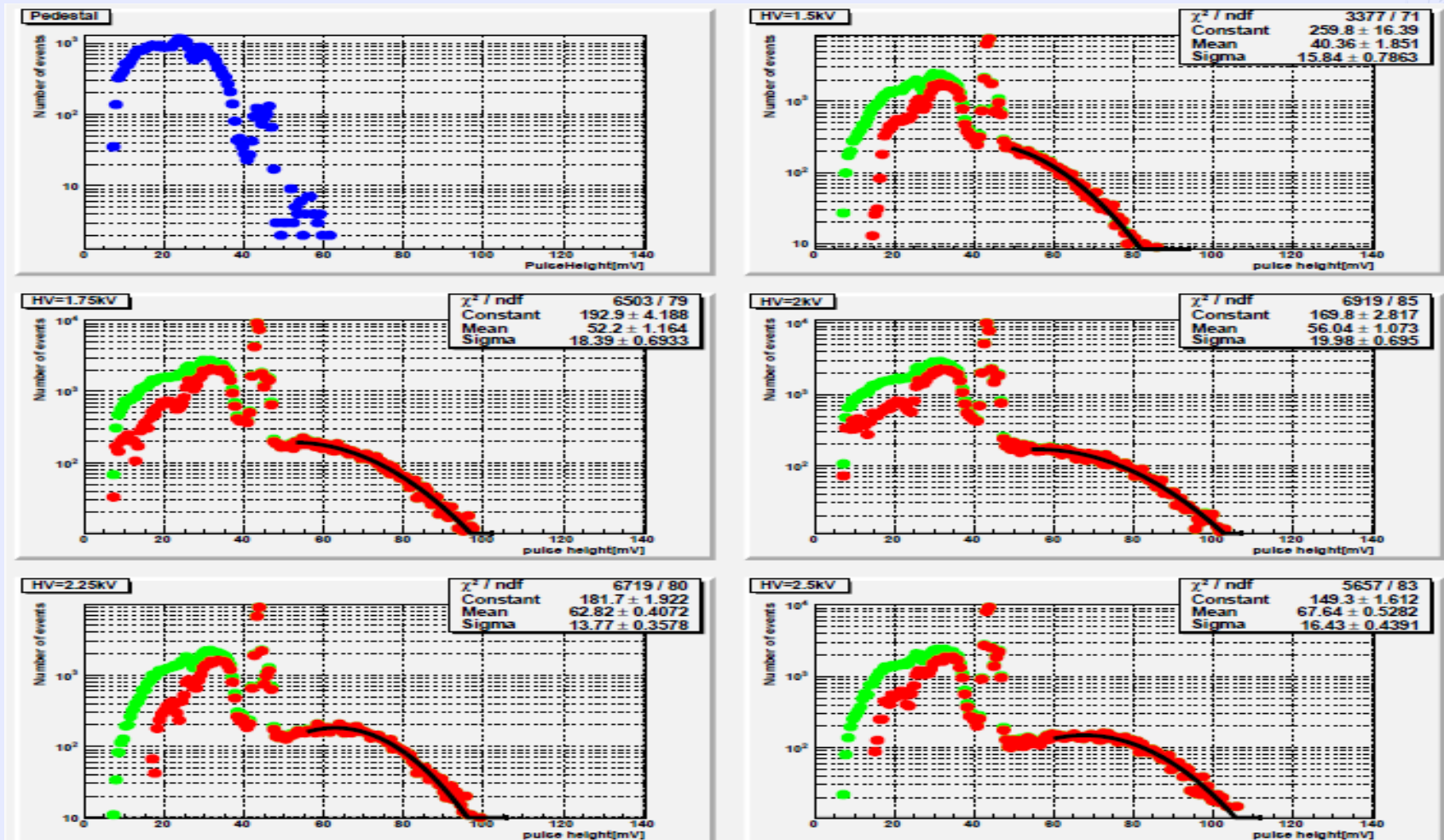
TPC analysis(2)

◆ 6/5のデータ



TPC analysis(3)

◆ 6/18のデータ

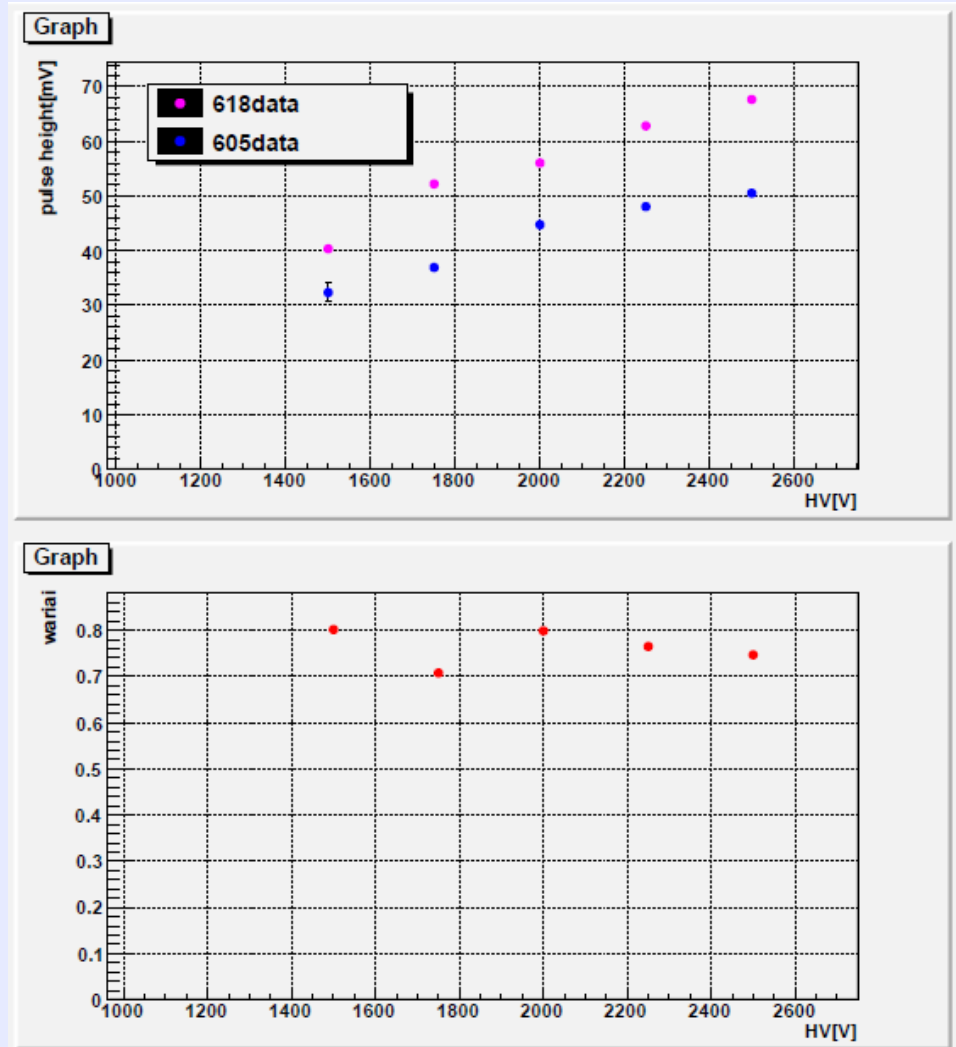


2009/6/25

LXe meeting memo by Y.Fujii

TPC analysis(4)

- やはりLPFを通さないと pedestalが増加するが、その分シグナルも大きくなるので純度が十分であれば問題ないと考えられる
- 6/5のデータと6/18のデータを比較したものが右図
- 比率がだいたい一定なので純度の違いとLPFあり、無しの違いを考慮すると対応がとれている??

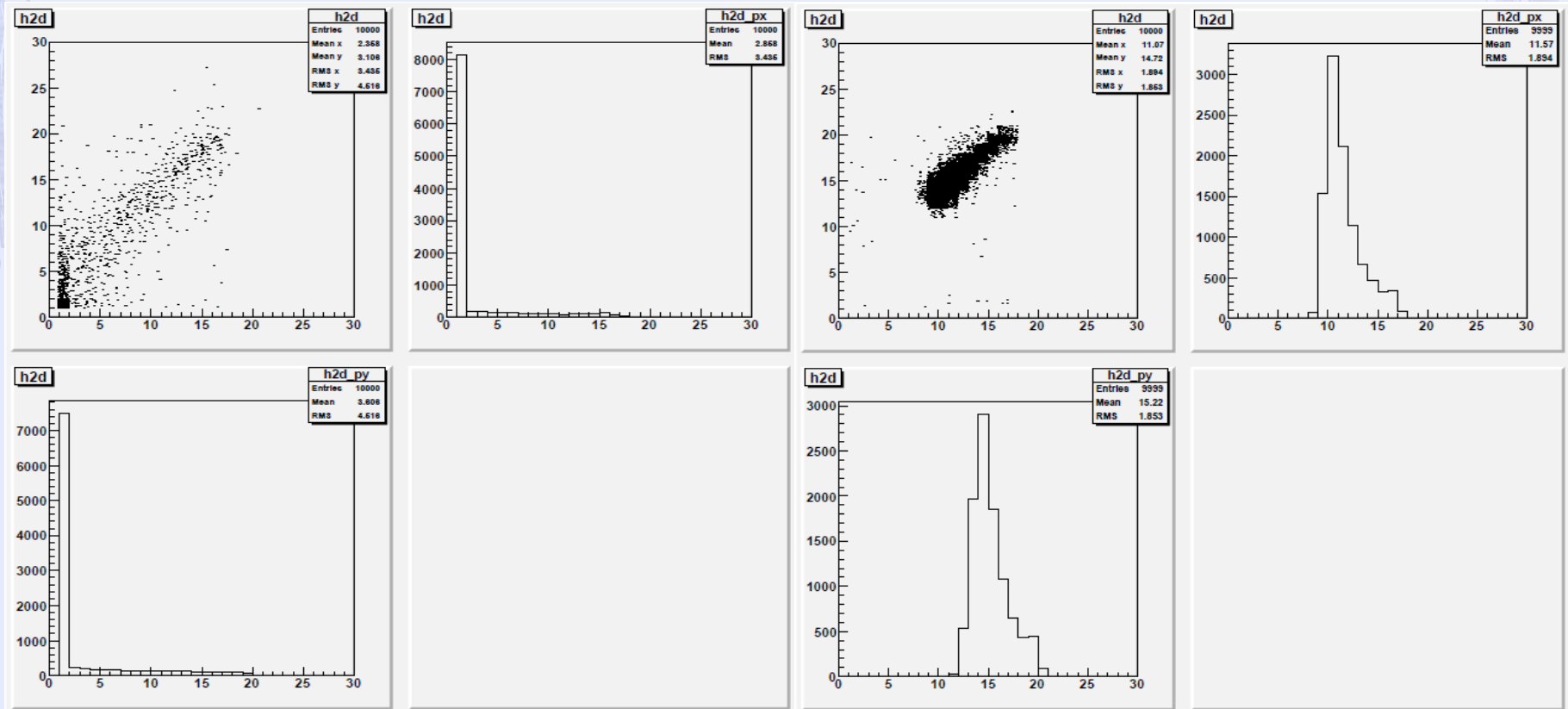


PMT analysis

- ◆ アテネータによるシグナルへの影響
 - アテネータを通すとペDESTALのsigmaとmeanの位置が変化していることがわかった
 - アテネータは古くなると接触不良等で劣化することが判明 (森研meetingにて指摘をいただいた)
- ◆ 提案として・・・
 - HVを下げてアテネータを通さずにデータを取ってみてはどうだろうか
 - もしくは新しいアテネータを探して使用する

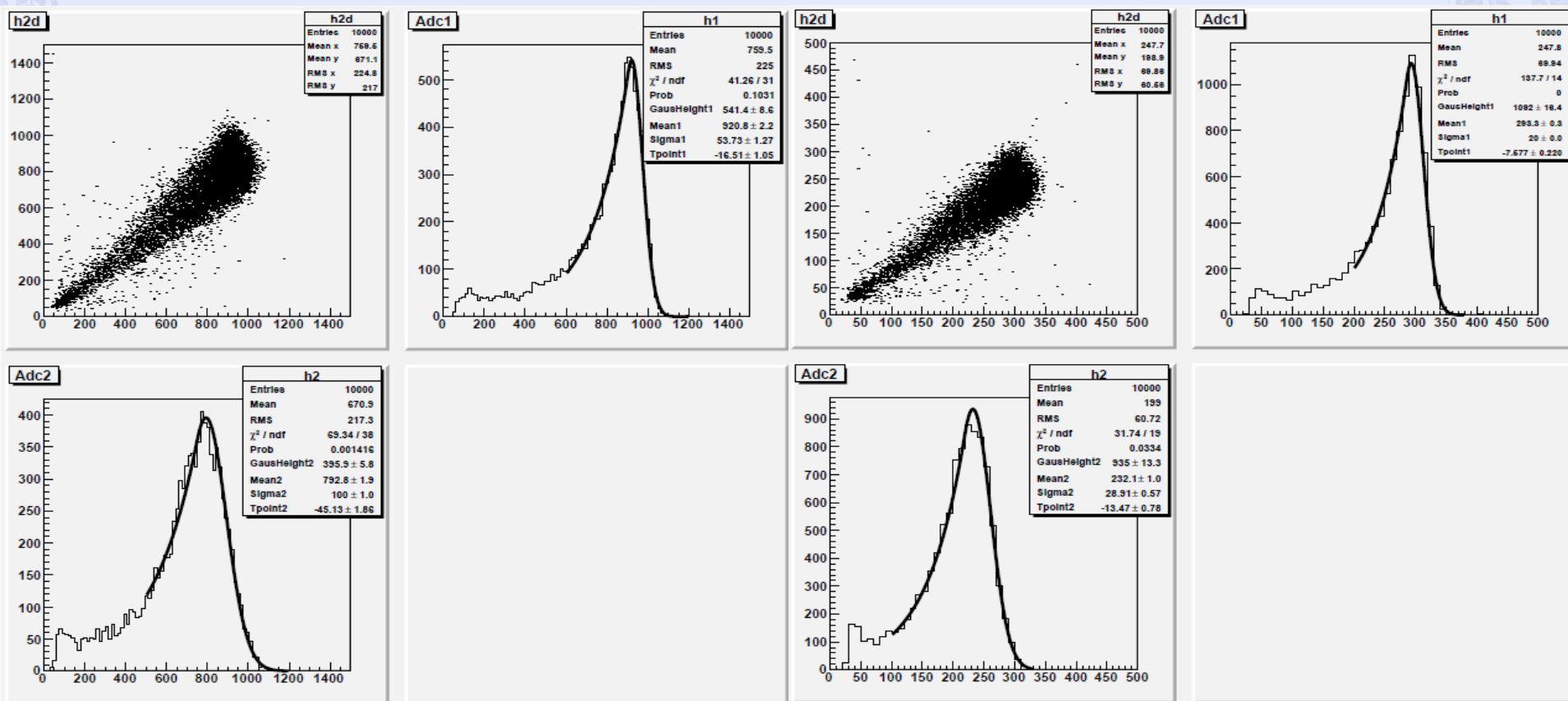
PMT analysis(2)

- ◆ ペDESTALの変化@PMT1 -> 750V, PMT2 -> 850V
- ◆ 右がアテネータを通したとき



PMT analysis(3)

- ◆ アテネータを通したときと通さなかった時の電荷シグナルの違い



PMT analysis(4)

	Without att.	With att.
Sigma1/Mean1 Sigma2/Mean2	0.0583588 0.126139	0.0681967 0.124549
Gain1 Gain2	4.89371e+06 1.96846e+07	2.12849e+06 / Att. 5.61932e+06 / Att.